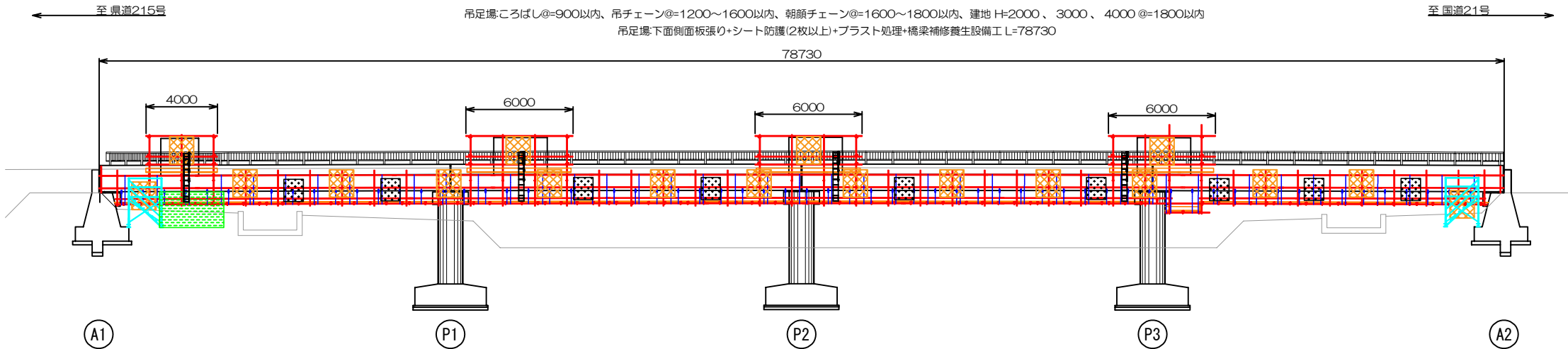


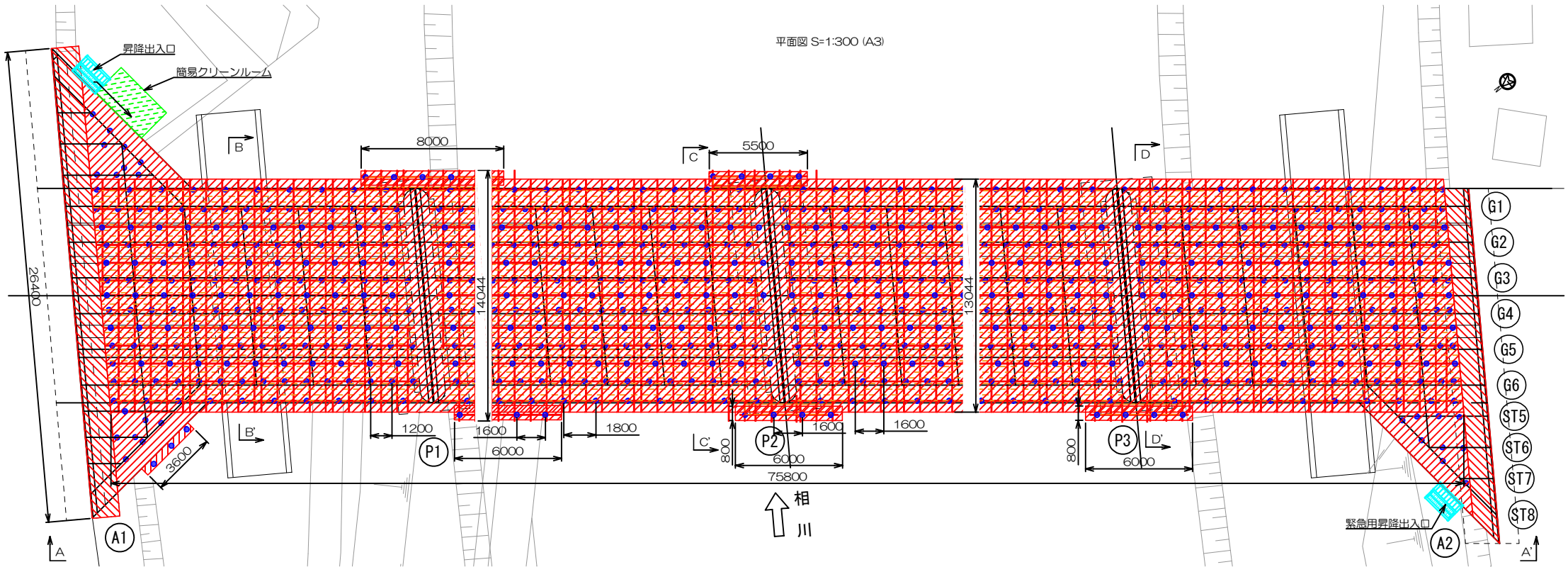
相川橋足場仮設計画図(案)

A-A' 側面図 S=1:300 (A3)

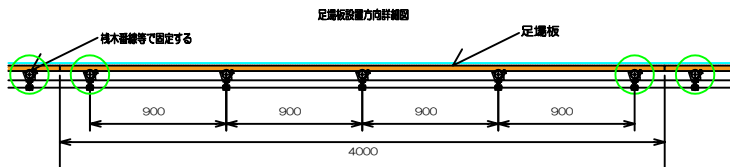
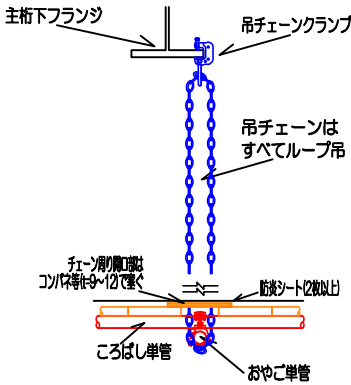


※吊足場上から有害物質及び粉塵、その他が飛散・落下しないように留意する

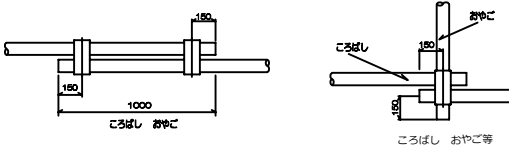
平面図 S=1:300 (A3)



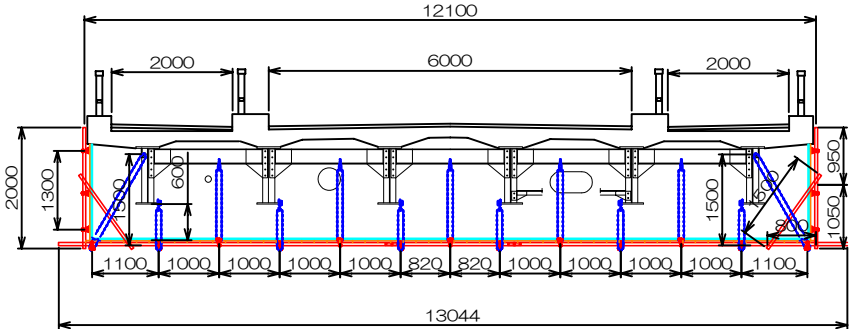
吊チェーン取付部詳細 S=1:30 (A3)



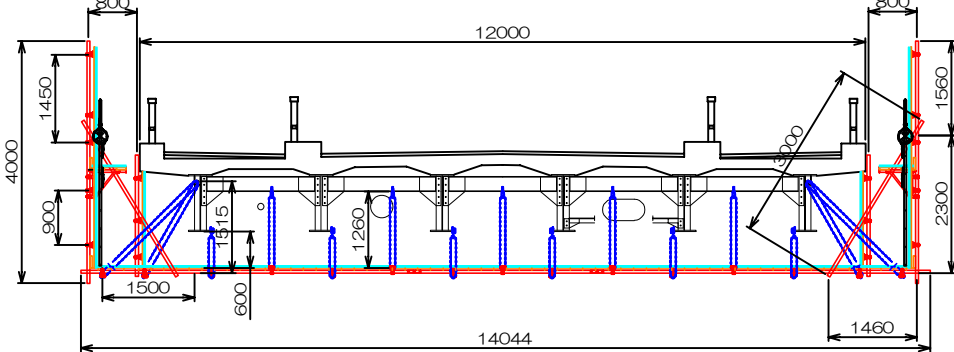
鋼管の連結構造標準 S=1:30 (A3)



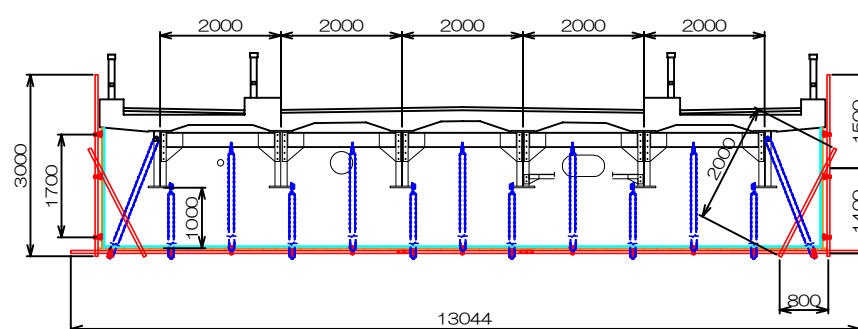
B-B' 断面図 S=1:125 (A3)



C-C' 断面図 S=1:125 (A3)



D-D' 断面図 S=1:125 (A3)



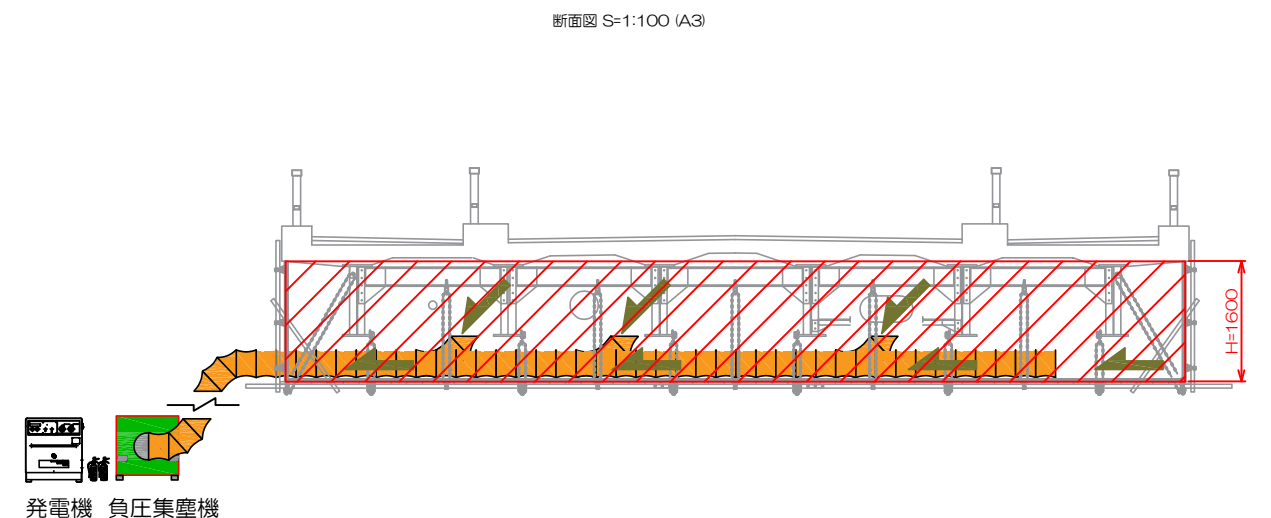
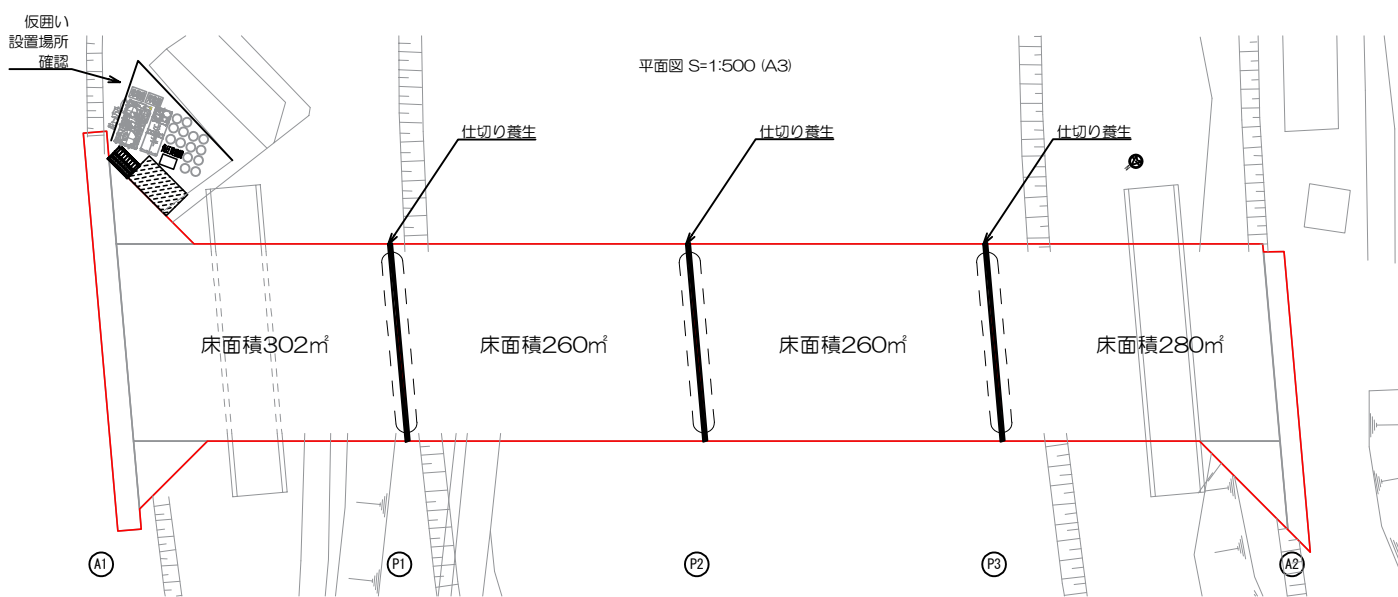
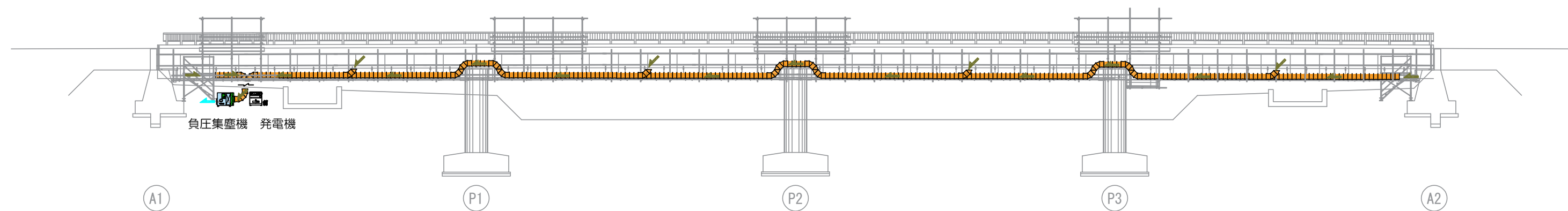
吊足場 単管足場 板張り防護 簡易クリーンルーム (3000 H=2000 W=2000) 窓明かり 吊(朝顔)チェーン 防炎シート防護

相川橋負圧集塵機及びブラスト機材その他設置図(案)

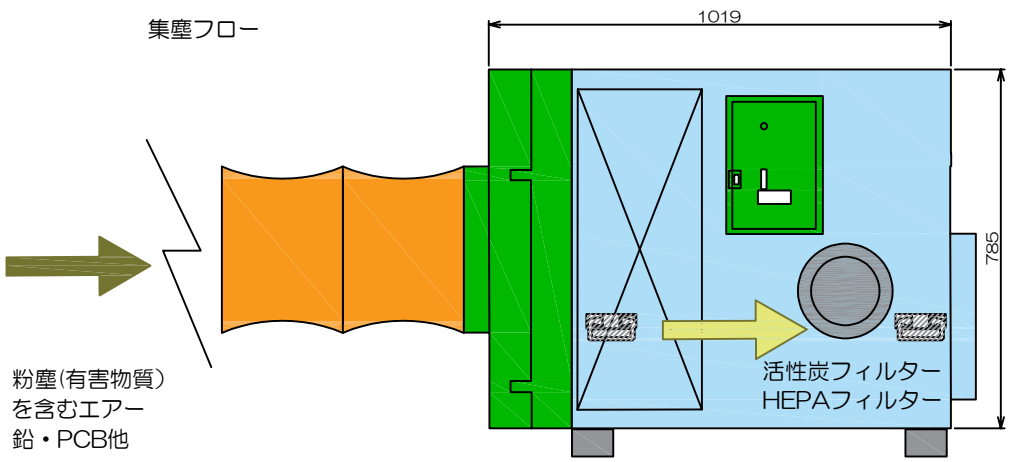
作業場の粉じん濃度の低減対策として、作業空間に応じた十分な排気量及び除じん機能を有する集じん排気装置の設置、電動ファン付き呼吸用保護具やこれと同等以上の性能を有する空気呼吸器、酸素呼吸器もしくは送気マスクマスクの装備。
近隣環境への飛散防止のための作業場隔離措置として、足場の板張りやシート張り、シートのつなぎ目のラップや養生テープでの隙間の目張りといった工夫、粉じんを外部に持ち出さないように洗身や作業衣等の洗浄の実施。

側面図 S=1:250 (A3)

吊足場上から有害物質及び粉塵(シートの切れ端)その他
が飛散・落下しないように留意する。



施工範囲 床面積
各施工場所 仕切り養生を行い有害物質及び粉塵等が漏れないように施工を行う
A1~P1 P1~P2 P2~P3 P3~A2



A1~P1
必要台数 (0.58) $\geq \frac{\text{約}453 \text{ (m}^3\text{)} / \text{(12分/回)}}{(65 \text{ m}^3\text{/分)}} \text{ (床面積 約}302 \text{ m}^2 \times \text{高さ約 } 1.5\text{m)} = \text{約 } 453 \text{ m}^3$

A1~P1
必要台数 (0.50) $\geq \frac{\text{約}390 \text{ (m}^3\text{)} / \text{(12分/回)}}{(65 \text{ m}^3\text{/分)}} \text{ (床面積 約}260 \text{ m}^2 \times \text{高さ約 } 1.5\text{m)} = \text{約 } 390 \text{ m}^3$

A1~P1
必要台数 (0.50) $\geq \frac{\text{約}390 \text{ (m}^3\text{)} / \text{(12分/回)}}{(65 \text{ m}^3\text{/分)}} \text{ (床面積 約}260 \text{ m}^2 \times \text{高さ約 } 1.5\text{m)} = \text{約 } 390 \text{ m}^3$

A1~P1
必要台数 (0.53) $\geq \frac{\text{約}420 \text{ (m}^3\text{)} / \text{(12分/回)}}{(65 \text{ m}^3\text{/分)}} \text{ (床面積 約}280 \text{ m}^2 \times \text{高さ約 } 1.5\text{m)} = \text{約 } 420 \text{ m}^3$

クリーンエア
労働基準監督署推進換気量 12分に5回以上
プレフィルター 最大処理風量
(自動脱塵) 65m³/min (W=700×L=1019×H=785,重量 (Kg) 約118) の場合(参考)

必要台数 $\geq \frac{\text{作業場の気積 (床面積} \times \text{高さ) (m}^3\text{)} / \text{(60分 / 5回)} }{\text{集じん・排気装置1台当りの排気能力 (m}^3\text{/分)}}$ 12分に1回

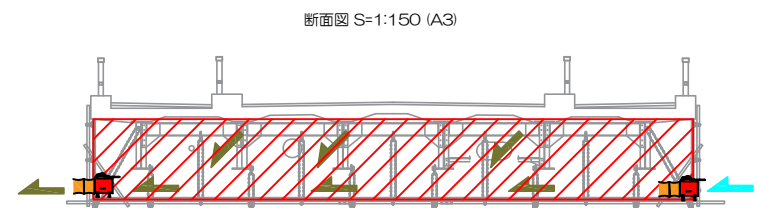
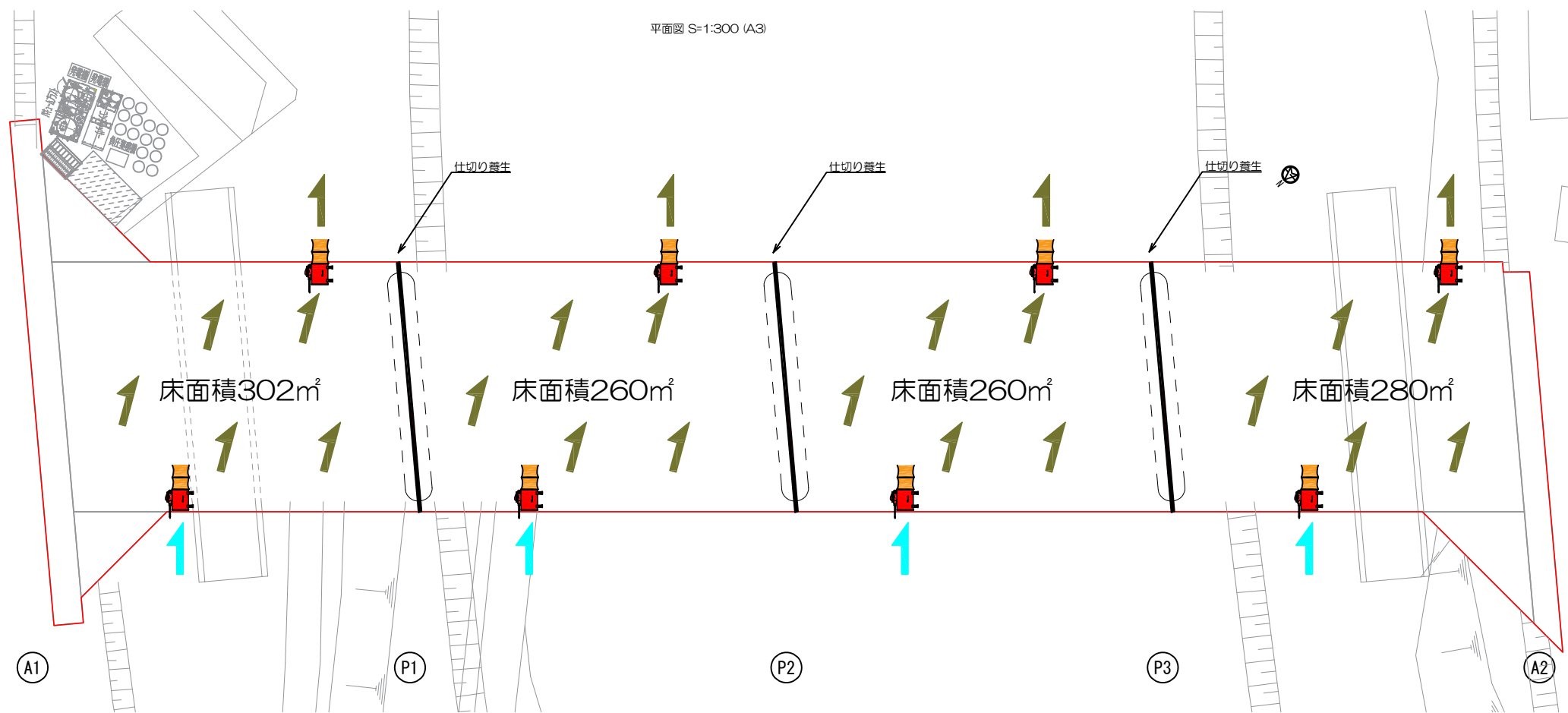
※負圧集塵機の処理能力を確認し施工を行う。

※鉛、PCB等の有害物質を含有する塗装をブラスト工法又は(剥離剤)を用いて除去する作業が行われる場合は当該作業に従事する労働者に送気マスクの使用を求めていることから、吊足場上の作業場所が、送気マスクを使用して、作業可能な構造や広さとなっているか確認し、問題が認められる場合は改善の指導を行うこと。

※つり足場をビニルシート、防災シート、ベニア等で覆い、通気が不十分となる構造となっている場合は、換気装置が設置される計画になっているか、設置予定の換気装置の換気能力が十分かどうかを確認し、問題が認められる場合は改善の指導を行うこと。

※つり足場の構造が、作業に従事する労働者に体調不良者が生じた場合に、迅速に救護や避難を行えるものとなっているか確認し、問題が認められる場合は指導を行うこと。

相川橋プッシュプル型換気装置配置図(案)



施工範囲 床面積 各施工場所 仕切り養生を行い有害物質及び粉塵等が漏れないように施工を行う A1~P1 P1~P2 P2~P3 P3~A2

外気から水平気流+外気へ水平気流(2台で1組)

A1~P1
必要台数 2台 (0.53) $\geq \frac{\text{約}453(\text{m}^3) / (12\text{分/回})}{(70\text{m}^3/\text{分})}$ (床面積 約302 m² × 高さ約 1.5m) = 約 453 m³

A1~P1
必要台数 2台 (0.46) $\geq \frac{\text{約}390(\text{m}^3) / (12\text{分/回})}{(70\text{m}^3/\text{分})}$ (床面積 約260 m² × 高さ約 1.5m) = 約 390 m³

A1~P1
必要台数 2台 (0.46) $\geq \frac{\text{約}390(\text{m}^3) / (12\text{分/回})}{(70\text{m}^3/\text{分})}$ (床面積 約260 m² × 高さ約 1.5m) = 約 390 m³

A1~P1
必要台数 2台 (0.50) $\geq \frac{\text{約}420(\text{m}^3) / (12\text{分/回})}{(70\text{m}^3/\text{分})}$ (床面積 約280 m² × 高さ約 1.5m) = 約 420 m³

名称	型式	風量	風圧(全圧)	電圧	電流値	回転数	出力	本体重量
防爆ママφ300	BM-C	70m ³ /min	300Pa	100V×1φ 200V×1φ	8.0/7.5A 4.0/4.0A	3000/3600min	0.55kW	20kg

